

市 だ 議 会 より



にほんまつ

第 号 3月定例会
平成29年5月1日発行
46

地域の元気を発信

4月6日 道の駅さくらの郷
「さくら食堂808」が新装オープン

さくら食堂808の「808」は、
国道459号と国道349号が交わる
地点に位置することにちなみ、そ
の数字を足したものです。

I N D E X

特別委員会報告	平成29年度当初予算を審査 一般会計は373億円	2
定例会概要	消費生活センター条例制定など55議案を可決	4
常任委員会報告	行政課題の解決に向けて 常任委員会審査報告	6
代表質問・一般質問	市の明日を考える 5人が代表質問、13人が一般質問を行う	8
政務活動費・傍聴者の声	政務活動費決算一覧 傍聴者の声	16
お知らせ	議会報告会のお知らせ	18

市民のための大切な予算だから

市議会が市の予算をチェック

私たちの暮らしにかかわる市の平成29年度予算は3月8日から14日まで24名の委員で構成する予算審査特別委員会で審議されました。委員会では“私たちの税金がどんなことに使われるのか” “本当に必要な予算なのか” “この事業をもっと強化すべきでは” など活発な質問が市当局に向けられました。

新しい事業や拡充される施策について出た質問の一部を紹介いたします。

Q 消費生活センター設置の内容は？

市民生活の向上

A なりすまし詐欺や悪質商法などの相談を、月曜日から金曜日まで、毎日受け付けします。市役所（本庁内）に設置することを予定しています。消費生活相談員は、全国消費生活相談員協会へ委託することを考えています。

Q 防災行政無線がアナログからデジタルに変わる計画はある？

防災・減災

A 防災行政無線は、これまでは岩代・東和地域で行っていましたが、市内全域に拡大して設置します。また、職員による音声入力による放送を行っていましたが、デジタル化されるとパソコンで文字の情報を送信すると、音声に変換されます。なお、受信感が弱い地域においては、屋外アンテナ等を設置することで対応していきたいと考えています。

Q 温泉等利用券は市民プールで利用できる？

高齢福祉

A 1か月有効の定期券の購入費用にあてることができるのですができません。しかし、回数券の購入には使用できません。

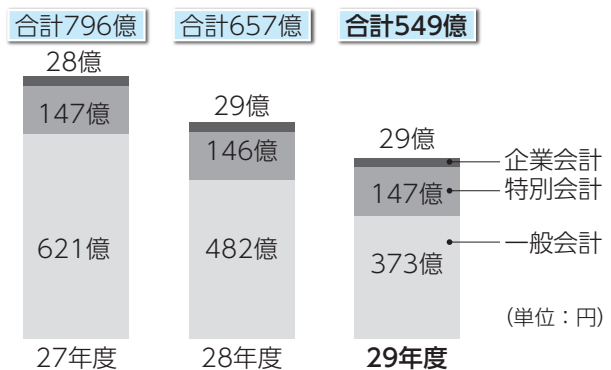
討議

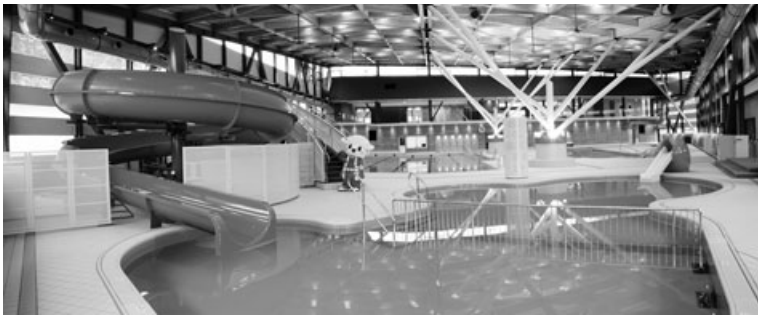
温泉利用券は70歳以上の高齢者が利用するものなので、定期券購入のみでなく、回数券の購入などでも使用できるようにした方が、利用しやすいのではないかと。



一般会計は、除染対策事業費が大幅に減額となっていることなどから、年々減ってきています。

各会計の当初予算の推移





3月にオープンした二本松しんきん城山プール



見事な千輪咲きの菊

Q

新たにできる「教育支援センター」って何？

教育

A 学校に通えない子供たちへの支援として、平成29年度に設置される施設です。小学生、中学生への学習を指導いたします。なお、このセンターでの学習は学校への出席となります。



Q

菊のまち二本松推進事業の「稼げる菊づくり」とは？

観光交流

A 「千輪咲きの菊をつくれる二本松」をブランド化し、千輪咲きの菊の安定した生育の成功率を高めて市内外に販売することによって、二本松の菊を見直してもらおう機会となるようにしていきたいと考えています。

Q

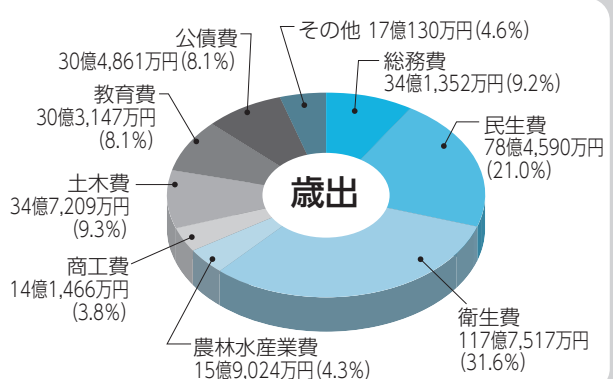
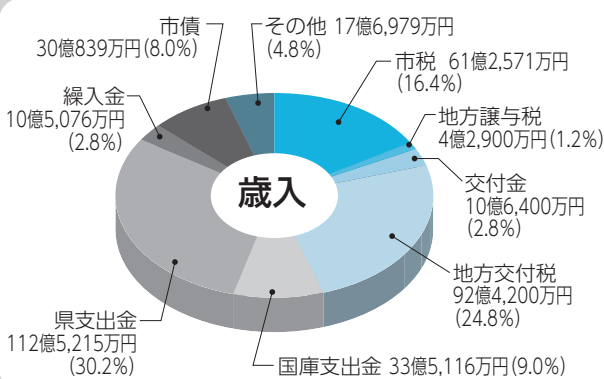
LED照明導入促進事業補助金の内容は？

安全・安心対策

A LED照明導入における調査委託料に対するもので、補助率は2分の1で、当局の場合は上限額である800万円です。この事業は、市内の街路灯をLEDに一括更新するもので、市内全域が明るく、安全安心の街を目指します。

討議 新規の設置要望がある道路照明分についても、一括してリース契約に含められるよう調査の段階で検討すべきでは。

平成29年度一般会計 当初予算 372億9,296万円



議案第35号 平成29年度二本松市一般会計予算 など市長提出議案55議案

新年度予算案、消費生活センター条例制定等を可決

平成29年度の予算案は、予算審査特別委員会において延べ7日にわたる審査が行われた後、本会議で賛成多数で可決されました。

平成29年度の一般会計当初予算額は、総額は372億9,296万円で、除染対策事業費が大幅に減額となったことなどから、前年度対比で108億7,522万3千円、率にして22.6パーセントの減となりました。

このほか、消費生活センター条例制定、教育支援センター条例制定などの議案も審議され可決されました。



予算審査特別委員会の様子

議案第23号平成28年度二本松市一般会計補正予算

国の補助金などを活用した補正予算案を可決

国の「地方創生拠点整備交付金」を活用する事業等、次年度への繰り越しを見据えた予算などを盛り込んだ補正予算を全会一致で可決しました。

主な内容は、観光交流人口の拡大を推進するため、スカイピアあだたら体育館の施設を改修するものです。そのほか、森林除染対策事業、特定教育・保育施設型給付事業として保育費の処遇改善に伴う単価改定により、認定こども園や幼稚園・保育所への給付費の増額など行うものです。

補正予算の主なもの(歳出)

○スカイピアあだたら体育館の体験型観光施設への改修費	8,970万円
○森林除染を推進・加速するための事業費増額	4億1,800万円
○保育士処遇改善に伴う単価改定等による特定教育・保育施設型給付費及び特定地域型保育給付費の増額	5,538万円
○「二本松さくら展」開催における入館料等増収分の美術品等取得基金への積立て	1,242万円

人権擁護委員候補者の推薦

渡邊 保夫さん(小浜・再任)

斎藤 春男さん(百目木・再任)

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第1号	あだち地方障害者自立支援審査会共同設置規約の変更について	原案可決
第2号	あだち地方障害者自立支援審査会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第3号	二本松市消費生活センター条例制定について	原案可決
第4号	二本松市教育支援センター条例制定について	原案可決
第5号	二本松市地域おこし協力隊の隊員の報酬及び費用弁償に関する条例制定について	原案可決
第6号	二本松市集落支援員の報酬及び費用弁償に関する条例制定について	原案可決
第7号	二本松市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例制定について	原案可決
第8号	二本松市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第9号	二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第10号	二本松市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第11号	二本松市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第12号	二本松市個人情報保護条例及び二本松市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第13号	二本松市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
第14号	二本松市駐車場条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第15号	二本松市立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第16号	二本松市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第17号	二本松市在宅介護支援センター条例を廃止する条例制定について	原案可決
第18号	二本松市地域包括支援センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第19号	二本松市介護保険法に基づく地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第20号	二本松市営住宅設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第21号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決
第22号	損害賠償額の決定について	原案可決
第23号	平成28年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第24号	平成28年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第25号	平成28年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第26号	平成28年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第27号	平成28年度二本松市土地取得特別会計補正予算	原案可決
第28号	平成28年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第29号	平成28年度二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第30号	平成28年度二本松市安達下水道事業特別会計補正予算	原案可決
第31号	平成28年度二本松市岩代下水道事業特別会計補正予算	原案可決
第32号	平成28年度二本松市針道財産区特別会計補正予算	原案可決
第33号	平成28年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第34号	平成28年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決
第35号	平成29年度二本松市一般会計予算	原案可決
第36号	平成29年度二本松市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第37号	平成29年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
第38号	平成29年度二本松市介護保険特別会計予算	原案可決
第39号	平成29年度二本松市土地取得特別会計予算	原案可決
第40号	平成29年度二本松市公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決
第41号	平成29年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計予算	原案可決
第42号	平成29年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計予算	原案可決
第43号	平成29年度二本松市東和簡易水道事業特別会計予算	原案可決
第44号	平成29年度二本松市安達下水道事業特別会計予算	原案可決
第45号	平成29年度二本松市岩代下水道事業特別会計予算	原案可決
第46号	平成29年度二本松市茂原財産区特別会計予算	原案可決
第47号	平成29年度二本松市田沢財産区特別会計予算	原案可決
第48号	平成29年度二本松市石平財産区特別会計予算	原案可決
第49号	平成29年度二本松市針道財産区特別会計予算	原案可決
第50号	平成29年度二本松市工業団地造成事業会計予算	原案可決
第51号	平成29年度二本松市宅地造成事業会計予算	原案可決
第52号	平成29年度二本松市水道事業会計予算	原案可決
第53号	平成29年度二本松市下水道事業会計予算	原案可決
第54号	損害賠償額の決定について	原案可決
第55号	二本松市城山市民プール施設条例の一部を改正する条例制定について	原案可決

○議員提出議案とその審議結果

議案番号	件名	会議結果
第1号	二本松市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について	否決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	会議結果
第1号	農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる請願	不採択

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

一般会計補正予算、二本松市税条例等の一部を改正する条例制定等について

問 二本松市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定のうち、育児を行う職員の時間外勤務の制限を請求できる職員の配偶者の就業等要件を削除するとは、具体的にどのようなことか。

答 現在は、職員の配偶者が就業していない場合等には請求ができなかったが、それらの要件を削除する改正を行い、配偶者が就業していなくても請求できるようにするものである。

問 二本松市税条例等の一部を改正する条例制定のうち、個人市民税関係で、住宅借入金等特別税額控除の適用期限及び適用居住年を2年間延長することに伴い、地方特例交付金の交付期間も延長されるのか。

答 地方特例交付金は、住宅借入金等特別税額控除による市町村民税の減収見込額に相当する額を市町村に交付するものであるため、控除が延長されれば交付金の交付期間も延長される。

問 損害賠償額の決定について、事故が発生した要因は何か。また、事故の過失割合が一定程度高かった場合、当事者に求償できる制度はあるのか。また、その制度があるとすれば、求償は行ったのか。

答 当該事故現場は、見通しの悪い交差点であると共に、運転者の安全確認不足により発生したものである。当事者への求償制度はあるものの、自動車損害共済で全額対応可能であるため、求償はしていない。

問 一般会計補正予算のうち、繰越明許費の人口減少対策事業について、定住促進住宅取得奨励金の、これまでに申請された件数と支払った件数は。

答 3月10日現在の申請件数は98件、約6,900万円、そのうち、既に支払ったものが23件、約1,650万円。現時点で支払っていないものが75件、約5,250万円であり、そのほか、今後の申請分も含めて奨励金支給対象の新築住宅の完成が平成29年度となるため繰越すものである。



机上審査の様子

市民産業常任委員会

一般会計補正予算、二本松市消費生活センター条例制定等について

問 重度心身障がい者医療費給付事業において、過年度分返還金が計上されているが、対象となるのは何件あるのか。

答 返還金の対象となったものは、125件である。

問 スカイピアあだたら運営事業の中で、体育館改修にかかる予算を次年度に繰越して実施すると説明があったが、おおよその完成時期はいつ頃なのか。また、スケートボード等の指導者を配置すると説明があったが、雇用形態はどのようなになるのか。

答 完成の時期については、契約スケジュール等もあり、早くても9月頃に工事着工となる見込みで、年度内の完成を目標とし、次年度にはオープンしたいと考えている。また、指導者の関係については、株式会社二本松振興公社が指定管理者となっているため、振興公社に依頼することになるが、専門的な知識を持つ職員がいないため、現在、福島市で同様の事業を行う事業所に振興公社の中に

入っていただき、指導者を派遣いただく等の方法が採れないか検討している。

問 消費生活センター条例において、消費生活相談員は国家資格に合格したものと記載があるが、有資格者の配置は可能なのか、また、消費生活相談員の委託先についてはどのような事業所を想定しているのか。

答 現在、委託している全国消費生活相談員協会に引き続き委託したいと考えており、消費生活相談員については、協会に所属する有資格者を派遣いただくことで考えている。



現地調査の様子（こらんしょ市） 杉田

議案の審査は、4つの常任委員会に分けて行っています。3月定例会の審査の主な内容をお知らせします。

建設水道常任委員会

一般会計補正予算・東和簡易水道事業特別会計補正予算等について

問 社会資本整備総合交付金事業において、交付金の配分が要望額の54%だったことによる事業進捗への影響は。また、入札不調等で事業が繰越となったために配分が減らされたといった影響はあったか。

答 当市は県内の他市町村よりも積極的に交付金を多く要望しているが、当市のみにも突出した配分とはならない中で、整備可能な事業へ優先して配分するなど、交付金をやりくりしながら進めているのが現状である。また、入札不調等による繰越が原因で配分が減額になることは無い。

問 東和簡易水道事業において、接続戸数の向上についてはどのように考えているか。

答 戸沢地区においては配水池が今年度完成し、次年度から拡張事業が始まることから、推進委員会の席上などで、実際に生活用水として利用しても

らえるよう接続の働きかけを行いたい。また、拡張事業が完了した区域でも更なる接続の向上を働きかけていきたい。



現地調査の様子（長命1号線道路改良工事）

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算等について

問 新設される教育支援センターの適応指導教室で受け入れる不登校の児童生徒は、小学生から中学生まで幅があると思うが、どのように対応するのか。

答 教職経験等のある者を教育指導員として配置して学習支援を行う。

問 教育支援センターの職員配置人数は。

答 所長1名、教育指導員2名、スクールソーシャルワーカー1名であるが、平成29年度については、9月開所となるため、所長を学校教育課長が兼務し、教育指導員3名の配置で対応する。

問 教育支援センターの教育指導員は週3.5日勤務で、平成29年度は3名配置で対応とのことだが、どのような勤務シフトとするのか。

答 毎日最低2人は勤務となるようにと考えている。

問 主任介護支援専門員が5年毎に資格更新研修が必要となった理由は。

答 度重なる制度改正に対応していくためには、一

定期間を定めて資格更新研修を行う必要があるとの判断から法改正がなされたためである。

問 城山市民プールで、高齢者の温泉等利用券を定期券以外に回数券等に利用できるようにする考えはあるか。

答 オープン後の利用状況をふまえて、教育委員会と福祉部で協議していく。



机上審査の様子

代表質問・一般質問

市の明日を考える!

3月定例会では、5会派5人の議員が市政に対する代表質問を行いました。
また、引き続き13人の議員により一般質問も行われました。
主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

代表質問

イノシシのくくり罠の配布数が少ないのでは

国の農政施策の本市への影響は

問 平成29年度から始まる次期二本松市鳥獣被害防止計画は策定されたか。

答 現在、市で作成した計画素案を県と協議中で、県の審査を経て今月末に策定となる。

問 イノシシの捕獲道具に市で配布するくくり罠があるが、捕獲数の割合に比べ配布数が少ないので、多くすべきと考えるがどうか。

答 29年度以降も現状を踏まえ、十分協議を行い必要数の確保を図っていく。

問 昨年12月、安倍政権はTPP法案等を強行採決

した。本市農業にとり重大問題と考えるが、市長の見解は。

答 トランプ米大統領のTPP離脱の大統領令署名で、今後FTA交渉を求める声が強まる報道もあり、今後の推移を注視する必要がある。

問 国の農協改革は本市農業に大打撃となるが、どうとらえているか。

答 農業と地域経済に大打撃と推察されるが、誕生したJAふくしま未来には、農家の所得向上や地域の農業振興等に寄与されるよう期待する。

代表質問

安達ヶ原を拠点とした東部観光事業は

生産者国際認証支援対策は

問 ふるさと村、中島の地蔵桜、合戦場のしだれ桜等へのトライアングル整備計画を計画すべきでは。

答 「バスで巡る桜の名所号」の運行など春の企画が中心となる。通年観光事業としては、農業体験を通じた農家民宿の活用、東和・岩代地域への周遊コースの設定を検討する。職員の配置については、イベント規模に応じ、部を超えた協力体制を整え支援を行っている。

問 ウッディハウスとうわ等の宿泊施設の充実化

への計画は。

答 施設の老朽化に伴い年次計画による修繕を行って、適正な維持管理を図っていく。

問 グローバルギャップの推進による生産者国際認証支援策は。

答 安全安心な農作物を提供できる生産体制を整備する必要があり、東京五輪開催に向け、国際農業生産工程管理（GAP）導入へ国・県・生産団体と連携した活動を行いながら推進する。



佐藤源市

[あぶくま会]



平塚與志一

[真誠会]

代表質問

市長4年の市政と課題は

復興工業団地中止の判断は早すぎでは

問 職員適正配置について、特別に昇格させたと思われる人事はなかったか。

答 昇任審査会の審査を経て、市長が決定し適正に昇任・昇格を行っているところである。

問 海外派遣事業「市民の翼」に2年連続して市長が参加した理由は。

答 平成26年は就任後初ということで友好都市の首長として団長として参加し、翌年は合併10周年記念公式訪問団の団長として参加した。

問 高平工業団地整備事業の中止の判断は、あま

りにも早すぎるのではないか。

答 企業立地の見込みがないまま事業に着手すると、分譲できずに残ってしまい、いつまでも借入金の償還ができずに長期的財政負担を残し、市民への影響は大きいと判断し結論を出した。

問 市のこれからの企業誘致のビジョンは。

答 市の総合計画に基づき、財政計画とのバランスを考慮した長期的視野に立ち、周辺環境との調和を図りながら、着実に工業用地の基盤整備を行い、積極的な誘致により企業立地を推進する。

代表質問

いつまでも元気で、生きがいのあるまちづくり ——市の取り組みは



平栗征雄

[市政刷新会議]

問 健康寿命の延伸のために取り組んできた事業と29年度の事業方針は。



二本松しんきん城山プール

答 若者の死亡率を下げるため、心の相談や健康づくり講座を開催している。また、二本松市民の歌・健康体操「ほんとの空体操」の普及

促進に努めた。29年度は、城山市民プールを活用した「高齢者向けの水中運動教室」を開催する。

問 高齢者が学ぶということも大切だが、体を動かすことは、全てにおいて必要な生きるための基本と思う。今後の広場確保の対応は。

答 市内4カ所に、346戸の復興公営住宅建設が進められている。今のところ、グラウンド返還の具体的なスケジュール等は示されていない。県当局や関係機関と協議する。

代表質問

新年度の畜産振興施策は

市民との地域づくり支援事業の見直しは



菅野寿雄

[市政会]

問 畜産振興連絡会議の提言はどのように反映されたのか。

答 酪農家支援のために、優良牛導入事業において乳用牛1頭に対して4万円の助成を行う。また、銘柄牛確立対策事業では貸付の上限額を60万円から100万円に拡大する考えである。

問 畜産団体への周知をどのように行う考えか。

答 4月中に「二本松市畜産振興連絡会」を開催し、説明を行う。

問 市民との協働による地域づくり支援事業にお

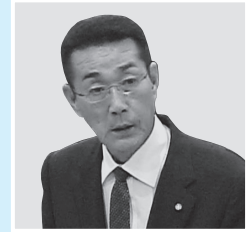
いて「人口割による配分検討」「事業の地域活性化への検証」「事業採択時の審査」についてどのように取り組むのか。

答 事業の総合的な見直しを平成29年度の早い時期に行い、平成30年度からの制度改正に向けて、市民に周知徹底を図っていく考えである。

一般質問

応急仮設住宅と復興公営住宅の状況は

不登校・いじめの状況は



小野利美

[市政刷新会議]

- 問** 応急仮設住宅の入居期間はいつまでか。
- 答** 平成30年3月31日までの供用期間となっているが、更なる延長も考えられる。
- 問** 復興公営住宅の現時点での場所ごとの完成戸数、入居予定戸数は。
- 答** 根柄山団地は70戸完成し入居も同数の70戸。石倉団地は合計6棟200戸完成予定で、入居予定129戸。若宮団地は完成予定32戸、入居予定戸数は0戸。表団地は完成予定44戸、入居予定戸数は0戸となっている。

- 問** いじめ・不登校生の有無は。(平成28年度)
- 答** いじめは2月22日現在、小学校14件、中学校4件の報告があった。不登校は1月31日現在、小学校4人、中学校49人となっている。
- 問** 不登校生・いじめへの対応と改善策は。
- 答** スクールカウンセラーや生活相談員の配置、各校の教育相談員の研修等を実施している。また、本年9月に二本松市教育支援センターを開設し、教育相談体制を整え、不登校児童・生徒の学習支援を行う適応指導教室を設置する。

一般質問



安齋 政保

[市政会]

スカイピアあだたら体育館改修の内容は

J R 油王田踏切の歩道の安全性向上は

- 問** スカイピアあだたら体育館改修（スケートボード、ボルダリング施設）の目的、内容は。また、管理人、指導者はどうするのか。
- 答** 本市の多様な観光資源の一つとして、地方創生交付金を活用し、若者をメインターゲットとした体験型観光施設として整備し、観光交流人口の拡大を推進するのが目的。スケートボード、ボルダリングそれぞれの競技種目の世界大会基準に対応できる施設整備を考えている。施設は、二本松市振興公社が管理する。

- 特殊な施設であるので、指導は業者に協力をいただく。
- 問** J R 油王田踏切の歩道設置工事が完了したが、歩道の終点部にクランクが生じたのはなぜか。安全性向上への今後の対策は。
- 答** 県管理の1級河川、轟川の施工を含めると、かなりの時間と膨大な費用が必要となるため、今回はJ R用地内のみでの暫定的な工事とした。どのような方法でより安全な形にするか、現在県と協議している。

一般質問

日本版ネウボラ（子育て世代包括支援センター）設置の考えは

安定的な水の供給確保は



小林 均

[公明党]

- 問** 日本版ネウボラ設置と、子育て家庭内の様々な情報を共有する支援会議設置の考えは。
- 答** 子育て支援機能のワンストップ化は一定の体制は確保されている。日本版ネウボラは30年度以降の設置を検討。支援会議の設置は考えていない。
- 問** 国が新たに創設した産婦健康診査事業と新生児聴覚検査事業の今後市の取り組みを示せ。
- 答** 平成29年度、産婦検診は1カ月日に実施。新生児聴覚検査は市全額助成で実施する。
- 問** 本市の水道台帳の整備状況は。

- 答** 上水道は固定資産台帳で管理、簡易水道は平成28・29年度で台帳化する。
- 問** 水道管路の更新状況と、管の継ぎ目に伸縮性を持たせる耐震化の進捗状況、耐震化率は。
- 答** 更新率は0.34%。震災以降、耐震水道管を採用し、耐震化を図っている。現在は17.7%。
- 問** 水道事業における資産管理のアセットマネジメントの概要と、水道料金設定の考え方は。
- 答** 今後40年間で約256億円が必要。32年度改定に向け長寿命化を図る。



五十嵐勝蔵

[真誠会]

一般質問

人口増加対策事業の実績は

公認野球場の建設は

問 市内定住者への定住促進住宅取得支援事業の実績は。

答 元々市内に居住しており、市内への定住を目的に住宅を取得された方への奨励金の支給実績については、平成27年度は45件、3,251万8千円。平成28年4月から12月では51件、3,564万円となっている。

問 市外からの定住者への定住促進住宅取得支援事業の実績は。

答 市外から本市へ移住される方へ奨励金の支給

実績は、平成27年度は6件、388万円。平成28年4月から12月では14件、1,088万円となっている。

問 公認野球場の建設について伺う。

答 新二本松市総合計画の中で検討を行ってきたが、限られた財源の中で事業の選択と集中にあって、整備に伴う財政負担も大きいこと、限られた整備では、公認野球場として誘致できる大会も少ないことなどから、事業効果の面からも事業計画には盛り込まなかった。

一般質問

中山間地域の現状と今後の展望は

消防団の今後のあり方は

問 中山間地域における人口減少の現状と今後の展望は。

答 とくに岩代・東和地域の人口減少が進んでいる。この状況を変えるためにも、地域の特性を活かした産業の振興や交流人口の拡大、移住者支援などの取り組みを積極的に推し進め、人口減少の抑制に努めていきたいと考えている。

問 消防団員の確保と団員への支援策は。

答 市内の飲食店等で消防団員の身分証明等を提示すると、割引や優待サービスを受けられる制



本多俊昭

[真誠会]

度が全国的にも増加の傾向にあり、県内でも取り組んでいる自治体がある。この制度は、団員確保、処遇改善の一助になりうるものと考えられ、市内の商店街でも購買拡大につながる可能性もあるので、本市としても導入を検討する。

問 機能別消防団の導入について本市としての考えは。

答 新年度から女性消防団員の募集を行う。そのほかの機能別消防団については、研究課題として消防団幹部会の中で議論していく。

一般質問

農業再生の取り組みは

限界集落の実態は



堀籠 新一

[真誠会]

問 本市の荒廃農地の実態は。

答 市内の全農地10,072haに対して、耕作放棄地面積は3,012haとなっており、約3割を占めている。

問 コメの生産調整（減反）廃止に伴い、本市の対応と生産者への周知方法・説明時期は。

答 県の指示もあり本年産米の取り組み状況を勘案し9月末までに成案を決定し、JAなどの米生産関係団体と協議を進め、周知、説明等を行う。

問 有害鳥獣被害対策としてワナの狩猟免許取得の補助金制度の新設について伺う。

答 狩猟後継者育成は重要な課題と認識し、有効な手法を検討する。

問 65歳以上人口が50%以上の限界集落、55歳以上人口が50%以上の準限界集落の実態は。

答 限界集落は7行政区。準限界集落は178行政区であり、合わせると185行政区となっており、市内の全354行政区の52.3%を占める状況となっている。

一般質問

就学援助費の本市の対応は

里山再生モデル事業の内容は

問 2017年度から就学援助費の入学準備金は国の補助単価が2倍になったが、本市の対応は。

答 これまでも国の単価に合わせた額を支給している。次年度から小学生は40,600円に、中学生は47,400円にすることで検討している。

問 里山再生モデル事業の具体的な内容は。

答 観音丘陵54haを除染対策交付金を活用して遊歩道の削ぎ取り除染、周辺部の堆積落葉の除去、福島森林再生事業を活用して、スギ等の針葉樹人工林の間伐、過度に密生した竹林の

駆除、景観を損なう部分の立木伐採を行う。
問 多くある杉林が花粉症の原因になっているが、その対策に結び付けることはできないか。
答 密集した部分の間伐等を予定していることから、一定の効果はあると考える。



事業により整備される観音丘陵



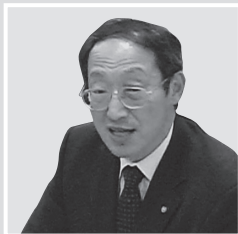
平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

一般質問

防災対策としてドローンの活用は

コミュニティスクールの対策は



石井 馨

[あぶくま会]

問 自主防災対策について、市として取り組む考えは。

答 市内には女性防火クラブが組織され活動しているが、今後、行政区・町内会を母体とした自主防災組織結成の広報・啓発に取り組んでいく。

問 災害時に役立つドローン導入が必要と考えるかどうか。また、そのための操縦者・管理者の養成が急務と考えるが、市としての考えは。

答 今後、ドローンを所有している民間業者と協定を締結し、有事の際への備えとしたい。また、

消防本部と連携して対応していく。

問 新年度から移行義務となるコミュニティスクールについてどのような対策を考えているか。

答 市内の全ての小中学校に学校評議員制度を設けて活動しているが、今後充実を図っていく。

問 外国語授業時数増加に伴う他の教科への影響は。また、読解力・表現力向上の対策は。

答 授業時数は確保されている。全校一斉の読書活動に取り組むほか、読解力・表現力の向上に努めていく。

一般質問

安達ヶ原公園周辺の整備計画は

文化財の保護・継承の支援は

問 観光交流人口増加が見込まれる安達ヶ原公園周辺の道路と駐車場整備について伺う。

答 平成29年度に実施設計業務委託料の予算を計上し平成30年度以降に着手する。安達ヶ原公園とふるさと村を回遊する園路及び駐車場不足解消を目的とした黒塚周辺の河川敷公園は早い段階での整備を検討している。

問 史跡の保存や無形民俗伝統文化財に対する保護・継承についての支援について伺う。

答 数多くの文化財の中でも、特に無形民俗文化

財については文化財を守り伝える方々の高齢化や過疎化、少子化等により保護・継承が難しくなっている団体が出ているのが現状である。市では、国、県及び市指定の無形文化財の保存団体に対し、無形民俗文化財保存伝承奨励金を交付し、支援していく。



国指定無形民俗文化財「石井の七福神」



佐藤 有

[真誠会]



熊田義春

[市政会]

一般質問

認定農業者育成事業の状況は

待機児童問題の原因と対策は

- 問** 認定農業者総人数は。
- 答** 平成24年度409人、25年度407人、26年度413人、27年度440人、28年度は1月末現在で426人となっている。
- 問** 認定農業者育成事業の申し込み件数は。
- 答** 平成24年度72件、25年度55件、26年度40件、27年度40件、28年度40件となっている。
- 問** 待機児童の平成24年度から28年度の人数は。
- 答** 平成24年度と25年度は0名、26年度2名、27年度55名、28年度85名となっている。

- 問** 待機児童が発生している原因と今後の対策は。
- 答** 申込み人数の急増と受入れ側の保育士確保や施設整備が追い付いていないため発生していると考えている。今後の対策として、3歳未満児受入れ拡大のために行う軽微な改修費用等を助成する市単独補助金の創設、安達地域に平成30年4月開園予定の認定こども園の整備が進んでいること、さらに認可保育所の整備を計画している事業所もあり、順次、待機児童解消に努めていきたいと考えている。

一般質問

有害鳥獣焼却施設の設置は

荻生天泉美術館の建設は

- 問** イノシシ等の被害により作付を断念する農家が續出している。本年のイノシシの捕獲数と有害鳥獣焼却施設の設置について伺う。
- 答** 平成28年度の捕獲数は本年1月末で1,482頭である。焼却施設建設の広域対策協議会設置は難しい。当市の現状に合った最も効果的な処理方法について、早期に方針を示したい。
- 問** 荻生天泉は本市太田の出身で、最後の大和絵師と言われた。画伯の長男から寄贈された多数の遺品を展示する美術館建設はできないか。

高橋 正弘

[あぶくま会]



- 答** 市が所蔵する荻生天泉の絵画は32点であり、美術館建設は考えていない。歴史資料館や大山忠作美術館、東和支所等で作品展示・公開を行い、広く市民に鑑賞いただき、当市出身の偉大な画家荻生天泉画伯の理解と顕彰を図りたい。



荻生天泉の作品(個人所蔵)



斎藤広二

[日本共産党二本松市議団]

一般質問

空き家対策事業の状況は

生活保護世帯の実態は

- 問** 空き家実態調査とデータベース化の進捗状況及び空き家対策計画策定について伺う。
- 答** 1,038件の建物のうち、空き家と回答したのは860戸で、意向調査の結果を3月中にまとめる。平成29年度に建築、不動産、法務等の専門性を持った協議会を設置し計画を策定する。
- 問** 移住者の空き家改修補助(50万円)の目標件数は毎年5件となっているが実績は。
- 答** 平成28年度は1件しかなく、宣伝を強化する。
- 問** 生活保護世帯の実態と傾向は。

- 答** 被保護世帯は313世帯で、保護率は千分率で15.7パーミル。高齢者世帯が45%を占める。
- 問** 生活保護扶助費の中で母子加算、児童養育加算の実態と収入認定額は。
- 答** 母子加算は18世帯を認定、収入認定額は107万円。児童養育加算は22世帯を認定。
- 問** 生活保護世帯のアルバイトをしている高校生の収入認定は。
- 答** 3世帯で修学旅行費、運転免許取得費として必要経費を控除している。

一般質問

免税店を設置すべきでは

保育料減免の取り組みと成果は



加藤建也

[市政刷新会議]

問 インバウンド事業の更なる推進を図るために免税店を設置すべきと思うが市長の考えは。

答 まずは「道の駅安達」に設置すべく二本松税務署と協議を重ねてきたが、輸出、免税品の扱いにするためには、振興公社が買い入れを行い、販売する商品でなければならないことが判明したことから、現在その対応について検討を進めている。

問 公約である「保育料減免」など、これまでの取り組みの成果をどのように捉えているのか。

答 保育料軽減について、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保育所等の保育料について第2子以降の保育料の無料化や一部助成を行うなど、約1,000人を超える幼児を対象に助成を行った。平成29年度は事業を拡大し、事業所内保育所は除くが、認可外保育所に入所している児童についても、第2子以降の保育料を無料化することとしている。

3月定例会 討論

議案第12号・35号・36号・37号・38号 二本松市個人情報保護条例及び二本松市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について 等

反対

平 敏子 議員

議案第12号はマイナンバーカードの利用拡大のための条例改正で、議案第35号、36号、37号、38号は、その関連予算になっている。そもそもマイナンバーは、個人情報の漏えいの危険があるにもかかわらず、引き続き、一層の利用拡大が図られようとしていることから反対である。

平成29年度予算9,482万円のうち国庫補助金はゼロである。次々と税金を投入し、なし崩し的にカード利用分野を広げること、マイナンバーの利用拡大も社会保障費抑制の手段にはならない。

請願第1号 農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる請願

賛成

菅野寿雄 議員

震災以降、二本松市の稲作面積は約10%、200haも減少している。この傾向に歯止めをかけるためには、担い手（耕作者）への支援が欠かせない。また、米の流通を巡る情勢では、外食・中食用途向けに1俵12,000円程度のコメが求められており、今後更に安値が続くことは確実な状況下にある。これらを踏まえれば、二本松市の稲作農家を守っていくために「戸別所得補償制度の復活」は是非とも必要である。よって請願の採択に賛成する。

反対

平栗征雄 議員

これからの社会の基本姿勢は、自助を基本とし、共助、公助を組み合わせ成り立っていくものであり、農業者に対する支援事業が、29年度の事業に表れている。

地域の基幹産業は農業だが、戸別所得補償制度は農家戸別の救済には効果があつたかもしれない。しかし、今後は共同事業を進める農業者に対しては、農業基盤整備の充実を図り、農家・農業者の意欲を引き出す多様な政策を打ち出すことであると思う。

賛成

斎藤広二 議員

10^円~15,000円支払うコメの戸別所得補償は来年廃止される。今でさえ米1俵3,300円の赤字で悲鳴が上がっている。平成25年に2億4,000万円あった補償金が4割も減り、赤字で借地を返したため215haも作付面積が減った。しかも福島産のコメは全国平均より1,100円/俵も安く、集落営農や大規模農家ほど影響が深刻である。今こそ農業所得の6割~9割を補償している欧米並みとすべきであり、食料自給率39%は独立国とは言えない。

議員提出議案第1号 二本松市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について

反対

菅野 明 議員

議員定数削減は、住民の代表性が薄れ身近な存在から遠くなる。議員は市政と市民をつなぐパイプで、そのパイプが細いほど良いというのは問題である。

震災・原発事故から6年、困難な中、復興を進めることが求められている。合併時、議員を削減し12年経過したが、過疎化が進む周辺部を含め広大な行政範囲となっている。これ以上の議員削減は、地域と市民の声が市政に届かなくなる。定数は「現状維持」と考え、反対する。

賛成

本多勝実 議員

長年にわたり議論を重ねてきたが、本市の財政や人口減少を見据えれば、削減すべきである。また、全国と同程度の人口の平均市議数は20名であり、議会費も9%超（2,460万円）減の効果が見込まれる。

県内他市でもほとんどの市が削減決定をしている中、地域の枠にとらわれず、オール二本松体制で進めることが、市民の信頼を深め、更には議会改革への第一歩になるものと考えているので、同案に賛成する。

反対

平塚與志一 議員

私たち議員は、今の任期中において、議会改革の中で、何度も議会運営委員会において、議員定数削減を検討してきた。住民の多様なニーズを的確に反映させる住民代表機能や議会が持つ本来の役割を考えると定数削減すべきではない。首長や市政を監視、チェックするうえでも問題があり、現行を維持すべきである。

合併時の議員定数は74名であった。私は、議員定数を削減するのではなく、報酬を下げるべきだと考える。

3月定例会賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決されています。

議案等名	議員名	議決結果	賛成	反対	本多 勝美	佐藤 運喜	石井 馨	加藤 建也	本多 俊昭	熊田 義春	小野 利美	安齋 政保	深谷 勇吉	菅野 寿雄	堀籠 新一	佐藤 有	菅野 明	小林 均	浅川 吉寿	平塚 敏子	平塚 敏子	斎藤 広二	佐藤 源市	斎藤 賢一	斎藤 周一	高橋 正弘	五十嵐 勝蔵	平塚 征雄	
議案第12号 二本松市個人情報保護条例及び二本松市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について		原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号 平成29年度二本松市一般会計予算		原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号 平成29年度二本松市国民健康保険特別会計予算		原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号 平成29年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算		原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号 平成29年度二本松市介護保険特別会計予算		原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号 農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる請願		(注) 不採択	12	12	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第1号 二本松市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について		否決	6	18	○	○	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	

(注) 請願第1号については、可否同数であったため、議長裁決により不採択となりました。

※○は賛成、●は反対。 ※議長（野地久夫）は採決に加わっていません。

行政視察報告

議会運営委員会 1月30日～31日 千葉県我孫子市、茨城県取手市

議会報告会など議会改革の取り組みを視察

議会運営委員会では1月30日から31日までの日程で、「議会報告会について」、「議会基本条例について」及び「議会改革への取り組みについて」をテーマに、千葉県我孫子市議会及び茨城県取手市議会を視察してまいりました。

我孫子市議会では、平成27年7月に第1回目の議会報告会を開催しました。報告会では、議会での審査状況の報告や市民との意見交換などを実施しております。しかし参加者が少ないことから、参加者をいかに増やすかということが課題であり、意見交換のテーマ設定や周知方法、開催会場などの開催手法について工夫・検討が必要とのことでした。

議会基本条例については、平成24年3月から検討を始め、平成26年12月議会で条例を可決しております。今後、条例の内容に関して適宜検証を行い、必要に応じて見直しを行う予定とのことでした。

また、議会改革としては、本会議等のネット中継や採決表示システムの導入等様々な取り組みを行っております。

次に取手市議会では、平成22年から現在までに14

回の議会報告会を実施しております。報告会では市民との意見交換に、より重点を置いているとのことでした。

課題としては、やはり参加者の確保という点であり、PRポスターやチラシの配布等周知方法の工夫などを行っているとのことでした。

議会基本条例については、平成23年3月から検討を始め、平成23年12月議会で条例を可決。その後も2回の条例見直しを行うなど、検証作業にも積極的に取り組んでおります。

また、議会改革については、常任委員会での市民との意見交換会の開催や中学生との合同議会の開催などの独自の取り組みも数多く見られました。

今回の視察は、議会報告会や議会基本条例など、一層の議会改革への取り組みを検討していくにあたり、参考とすべき点が数多くあった有意義な視察となりました。



取手市議会での視察の様子

政務活動費

平成28年度収支状況をお知らせします

各会派が提出した収支報告書等の関係書類は市議会ウェブサイトでもご覧いただけます。

- 政務活動費とは、地方自治法・条例等の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付するものです。
- 二本松市議会では、会派に対して1人当たり月額1万円を交付しています。
- 支出残額がある場合には、市に返還しています。

(単位：円)

会派名	市政刷新会議	真誠会	あぶくま会	市政会	日本共産党 二本松市議団	公明党	野地久夫	計
結成年月日	H26.7.1	H26.7.1	H26.7.1	H26.7.1	H26.7.1	H26.7.1	H27.8.13	
会派構成	平栗征雄 斎藤周一 佐藤運喜 本多勝実 小野利美 加藤建也 (6名)	五十嵐勝蔵 佐藤 有 堀籠新一 本多俊昭 平塚與志一 深谷勇吉 (6名)	佐藤源市 浅川吉寿 高橋正弘 石井 馨 斎藤賢一 (5名)	菅野寿雄 安齋政保 熊田義春 (3名)	斎藤広二 菅野 明 平 敏子 (3名)	小林 均 (1名)	野地久夫 (1名)	
会派への交付額(A)	720,000	720,000	600,000	360,000	360,000	120,000	120,000	3,000,000
会派の支出合計(B)	392,898	708,912	600,882	341,334	491,454	120,040	75,280	2,730,800
内 訳	調査研究費 (調査先等)		453,570 ・鳥根県松江 市・出雲市・ 益田市・鳥取 県境港市	47,356 ・やまがたグ リーンパワー (株)・(株)鶴岡バ イオマス			13,530 ・(有)月夜野さ のこ園・群馬 県立ぐんま昆 虫の森	514,456
	研修費	367,974	338,148	2,000		105,270	61,750	875,142
	広報費		370,764	147,312	291,978	491,454		1,301,508
	資料作成費	20,604						20,604
	資料購入費	4,320					14,770	19,090
収支差引(A - B)	327,102	11,088	-882	18,666	-131,454	-40	44,720	269,200
会派の自己負担額	0	0	882	0	131,454	40	0	132,376
市への返還額	327,102	11,088	0	18,666	0	0	44,720	401,576

市議会ウェブサイト

市議会の活動を分かりやすくお伝えするためにウェブサイトを開設しています。ぜひご覧ください。

<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/site/gikai/>

ウェブサイトでは次の情報が
ご覧いただけます。

- 市議会のしくみ
- 議員名簿
- 議会中継
- 会議日程表
- 会議結果一覧
- 市議会だより
- 会議録検索システム
- 議長交際費
- 政務活動費



*市議会ウェブサイトは二本松市ウェブサイト内にあります。

過疎・中山間地域の 活性化のためには

2月7日 平成28年度市議会議員研修会

講師に福島大学行政政策学類教授の岩崎由美子氏をお迎えし、「これからの過疎・中山間地域の活性化、住民参加による地域づくり行政・議員の関わり方、役割について」と題して講演をいただきました。様々な事例を交えながら、地域づくりのきっかけとなるのは「人」であり、中心となる「人」の重要性、そして「人と人のつながり」がやがて大きな力となることを考えさせられた研修会でした。



新殿老人クラブ連合会 門間 広一 さん

新殿老人クラブ連合会では、年間事業の一つとして議会傍聴を行いました。3月6日、西新殿・東新殿・杉沢の3地区の役員22名が市役所に集合、10時に議場に入り、地元の議員の一般質問を傍聴することができました。

議会傍聴ははじめての人もおり、市政に対して関心を持った人も多かったようでした。

新殿老人クラブ連合会では、10年ほど前から議会傍聴を恒例行事としており、楽しみにしている人も多くいます。議員のいろいろな質問に対して、関心も高いようです。



3月6日 新殿老人クラブ連合会のみなさん



本会議は、当日の受付で傍聴できます。市役所6階の議場・傍聴者入口からご案内しています。

議会開催の日程等については議会事務局へお問い合わせください。
議会事務局 ☎0243-55-5143



3月6日 松岡町会のみなさん

松岡町会 斎藤 敏彦 さん

松岡町会地域振興事業の一つとして企画された二本松市議会傍聴に、16名の希望者の1人として参加しました。新聞報道で質問の概要を目にすることはありますが、どのような雰囲気の中で、どのような態度で応答が行われているのか、今まで見聞きしたことはありませんでした。

今回、議員の方々の詳細で理路整然とした質問、両者の真剣なやり取りにいつしか傾注し、聞き入っていました。テレビの国会中継で目にするものとは異なる真面目さと市政を任せられる安心感を感じ、誇らしく思いました。今日のような議会が続くことを信じ、まだ傍聴をしたことがない方々に、一度の傍聴を勧めたいと思いました。

議場を見学しました

1月16日 石井小6年(当時) 37名のみなさん



編集委員会
委員長
副委員長
委員

熊田 義春
加藤 建也
佐藤 運喜
石井 馨
本多 昭
小野 俊美
小谷 利吉
深谷 均
小林 勇



編集後記

今年も早いもので、新緑の美しい季節となりました。

3月定例会は、新5カ年プランの施策を盛り込んだ当初予算を審議する大切な「予算審議」議会でした。

この議会だよりも毎回「見やすく、分かりやすく！」を念頭に編集委員全員で一致協力、奮闘しております。

新しい年度が4月からはじまりました。市民生活向上とより良い二本松市のためにさらに努力してまいります。

ぜひご参加ください！

第1回議会報告会

議会の活動状況って？



市民の皆さんに
市政や議会の活動状況
をお知らせします。

全議員を
4班に分けて
4地域ごとに開催！

内容

議会活動報告

- ① 3月定例会における議案等の審議内容について
- ② 議会の活動状況等について

意見交換

市政全般や議会についての意見交換

皆さんからのご意見やご提言をお聞かせください。

日 程	対象地域	会 場	出席議員 (担当班)
5月15日 (月) 午後6時30分	二本松地域	二本松市役所 6階 正庁	◎佐藤 有 ○安齋 政保 斎藤 広二 佐藤 源市 斎藤 周一 本多 勝実
5月16日 (火) 午後6時30分	安達地域	安達公民館 1階 集会室	◎菅野 寿雄 ○本多 俊昭 佐藤 運喜 平 敏子 平塚與志一 高橋 正弘
5月17日 (水) 午後6時30分	岩代地域	岩代公民館 2階 大会議室	◎堀籠 新一 ○小野 利美 加藤 建也 熊田 義春 小林 均 斎藤 賢一 野地 久夫
5月18日 (木) 午後6時30分	東和地域	東和文化センター 2階 研修室	◎五十嵐勝蔵 ○深谷 勇吉 石井 馨 菅野 明 浅川 吉寿 平栗 征雄

※議会報告会の時間は、おおむね1時間30分を予定しています。

(◎：班長 ○：副班長)

お知らせ



- ◎次回の定例会は6月上旬開会の予定です。皆さまお気軽に傍聴においでください。
- ◎市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

あ
て
先

〒964-8601 二本松市金色403番地1
市議会だより編集委員会
TEL 55-5143 (議会事務局) FAX 22-6047
E-mail shomu@city.nihonmatsu.lg.jp